

スーパークリーンマイルド 東新油脂株式会社 整理番号00190 2010.3.2

作成日 2010年03月02日
改訂日

製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 製品及び会社情報

製品名	スーパークリーンマイルド
製品コード	
会社名	東新油脂株式会社
住所	東京都足立区梅田5-14-11
担当部門	技術部
担当者	高橋誠四郎
電話番号	03-3886-3135 (代)
FAX 番号	03-3840-3136
メールアドレス	s-takahashi@toshin-yushi.co.jp
緊急連絡先電話番号	技術部直通 03-5681-6288
推奨用途及び使用上の制限	印刷機械洗浄用
整理番号	00190

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性(固体/液体)	分類できない
	呼吸器感作性(気体)	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分外
	授乳に対する、または授乳に関する追加区分	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分3(麻醉性、気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分2(肝臓、精巣)
	吸引性呼吸器有害性	区分1
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(慢性)	区分1

GHSラベル要素

絵表示

:



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性液体及び蒸気
 皮膚刺激
 呼吸器への刺激のおそれ
 眠気またはめまいのおそれ
 長期または反復暴露による臓器（肝臓、精巣）の障害のおそれ
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
 水生生物に非常に強い毒性
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

容器を密閉しておくこと。
 保護手袋／保護眼鏡／保護マスクを着用すること。
 取り扱い後は手をよく洗うこと。
 環境への放出を避けること。

応急措置

日に入った場合 : 直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合には、医師の手当てを受ける。

廃棄

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 単一製品

化学名又は一般名 : 炭化水素油

成分及び含有量

化学名	含有量%	化学式	官報公示No. (化審法・安衛法)	CAS No.
ミネラルスピット *	100	特定できない	非開示	非開示

* : 労働安全衛生法通知対象物

毒劇法の該当 : 非該当

化学物質管理促進法 : 非該当

スーパークリーンマイルド 東新油脂株式会社 登録番号00190 2010.3.2

4. 応急措置

- 吸入した場合 : ミストを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせ、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合には、医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液

使ってはならない消火剤：水

特有の消火方法：

- ・速やかに容器を安全な場所に移す。
- ・移動不可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却する。
- ・指定の消火剤を用いて消火する。

消火を行なう者の保護：消火作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- ・風下の人を退避させる。漏出した場所の周囲にはロープを張るなどして、人の立入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。
- ・屋内の場合には処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項：

- ・濃厚な洗浄廃液が河川に排出しないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

- ・漏出した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、密栓可能な空容器に出来るだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。その場合、中性洗剤等の分散剤を使用して洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

安全取扱い注意事項

- ・取扱場所は火気厳禁とし、作業場は換気を十分に行う。吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。作業衣等に付着した場合はその汚れを落とし、取り扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。

保管：

適切な保管条件

- ・容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵する。
- ・指定数量以上の場合は火災予防条例に従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：

屋内作業中時は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

管理濃度：

- ・設定されていない（作業環境評価基準：労働省告示第26号、平成7年3月27日）

許容濃度：

1. 日本産業衛生学会（2006年度版）

スーパークリーンマイルド 東新油脂株式会社 整理番号00190 2010.3.2

勧告値なし

2. ACGIH (2004年度版)

時間加重平均 (TWA) 値 525mg/m³ (ストッダードソルベントとして)

保護具:

有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、耐油性保護手袋、保護長靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

製品の物理的及び化学的性質

外観	形状	: 液体
	色	: 無色透明
臭気		: データなし
pH		: 該当しない
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲		
融点・凝固点		: -40℃
初留点		: 150℃
乾点		: 200℃
引火点		: 40℃ (TC)
比重		: 0.769g/cm ³ (15℃)
自然発火温度		: 238℃ (参考値)
燃焼又は爆発範囲		: 上限: 7% (推定値) 下限: 1% (推定値)
蒸気圧		: 11.4mmHg (37.8℃)
蒸気密度		: 3~4
粘度		: データなし
溶解性		: 水に対する溶解性: 不溶
オクタノール/水分配係数		: データなし
分解温度		: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性	: 常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。
避けるべき条件	: 高温、過熱。混触危険物との接触。
混触危険物質	: 第一類、第六類の危険物、及び高圧ガスとの混触は避ける。
危険有害な分解生成物	: 燃焼によりCO、NO _x 等の有害ガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性:

- 経口 ラットを用いた試験においてLD₅₀ 5000mg/kgで死亡が認められていない。
- 経皮 ウサギを用いた試験においてLD₅₀ 2000mg/kgで4例中1例が死亡したとの記述があるが、他のデータはなく、区分特定できない。
- 吸入 (蒸気) ラットを用いた試験においてLC₅₀ 8.2mg/Lの8時間暴露 (4時間換算値11mg/L) で15例中1例が死亡したとの記述があるが、ラットを用いた試験において5.5mg/Lの4時間暴露で死亡が認められていない。

皮膚腐食性/刺激性:

- ウサギの皮膚に4時間適用した試験において中程度の刺激性お

スーパークリーンマイルド 東亜油脂株式会社 整理番号00190 2010.3.2

眼に対する重篤な損傷性/刺激性:

および軽度の浮腫が認められたとの記述がある。

・ウサギの眼に適用した試験において24時間後には眼の反応が消失したとの記述がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性:

1. 呼吸器感作性: 有用な情報なし。

2. 皮膚感作性: モルモットを用いたBuehler testにおいて感作性は認められていない。

生殖細胞変異原性:

1. 生殖細胞を用いるin vivo経世代変異原性試験であるラットおよびマウスを用いた優性致死試験では陰性の結果。

2. 体細胞を用いるin vivo変異原性試験であるマウス赤血球を用いた小核試験およびラット骨髓細胞を用いた染色体異常試験では陰性の結果。

発がん性:

・EUではカテゴリ-2に分類されているが、判断の根拠が不明であり、ヒトの疫学調査データはいずれも評価の対象としては不十分であるとの記述がある。なお、NTPのStoddard solvent IICをラットおよびマウスに2年間吸入暴露した発がん性試験では、雄ラットにsome evidence of carcinogenic activity、雌マウスにequivocal evidence of carcinogenic activityが認められていない。

生殖毒性:

・ラットを用いた妊娠中吸入暴露試験において母動物に一般毒性が認められる用量でも明確な生殖毒性は認められていない。

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):

1. ラットまたはイヌを用いた吸入暴露試験において活動性の低下、協調運動性低下、運動失調、振戦、痙攣などの一過性の神経系への影響を示唆する症状が認められてない。

2. ヒトの暴露例で頭痛、吐き気、めまいなどの神経系への影響を示唆する症状および鼻の刺激性が認められている。

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):

1. モルモットを用いた吸入暴露試験において肝臓への影響が区分2のガイダンス値範囲の濃度で認められたとの記述がある。

2. ラットを用いた吸入暴露試験において精子運動性の低下が認められたとの記述がある。

吸引性呼吸器有害性:

1. 炭化水素であって、かつ、white spiritの粘性率から算出される25℃動粘性率は0.87-1.94mm²/s以下であり40℃では20.5mm²/s以下であると推測される。

2. 誤嚥により化学性肺炎を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

製品としての環境影響情報

- ・生体毒性 : 甲殻類(オオミジンコ) 48時間LC₅₀ 0.42-2.3mg/L
- ・残留性/分解性 : 急速分解性はない(BODによる分解率: 12-13%)
- ・生体蓄積性 : 現在のところ有用な情報なし
- ・土壌中の移動性 : 現在のところ有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

- ・ドラム缶等に入れ、横転しても内容物が外部へ流出しないように密栓する。
- ・焼却する場合は産業廃棄物処理基準に従って焼却する。
- ・外部委託の場合は廃油(可燃性)であることを明記し、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

スーパークリーンマイルド 東新油脂株式会社 整理番号00190 2010.3.2

14. 輸送上の注意

注意事項：

- ・容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
- ・消防法の危険等級Ⅲに準ずる運搬容器に収納して運搬する。

国連分類：クラス3（引火性液体）

国連番号：1268

指針番号：128

15. 適用法令

- ・労働安全衛生法：危険物（引火性の物）、有機則（第3種有機溶剤）、通知対象物質
- ・消防法：危険物第4類 第2石油類（非水溶性）
- ・船舶安全法：告示別表第5（引火性液体類）
- ・航空法：告示別表第3（引火性液体）
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規則
- ・下水道法：鉱油排出規制
- ・水質汚濁防止法：油分排出規制
- ・海洋汚染防止法：油分排出規制

16. その他

参考資料

- 1) A C G I I I (2004年)
- 2) 日本産業衛生学会 (2006～2007年) <http://joh.med.uoeh-u.ac.jp/oel/index.html>
- 3) I C S C C A R D <http://www.nihs.go.jp/ICSC>
- 4) 神奈川県環境研究所データベース <http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp>
- 5) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
<http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghsl.html>
- 6) 原料MSDS
- 7) 製品安全データシート作成指針（日本化学工業協会）
- 8) 製品安全データシート作成資料 JIS 77250-2005対応（インキ工業会）
- 9) I A R C (Vol.1～85)

問い合わせ先

担当部門 技術部

電話番号 03-3886-3135（代） F A X 番号 03-3840-3136

メールアドレス k-tsuneyoshi@toshin-yushi.co.jp

記載内容の変更等

- ・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成されている。
- ・法令の改正や新しい知見、情報により、記載内容が予告なしに改訂されることがある。
- ・取扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実際に即した安全対策を講じること。
- ・この「製品安全データシート（MSDS）」は、安全や品質の保証書ではない。